

# 社会科学学習指導案

平成28年11月10日(木) 第5校時 6年〇組教室 指導者 茂木 伸浩

## 1 単元名 アジア・太平洋に広がる戦争

### 2 考察

#### (1) 教材観

##### ①学習内容：学習指導要領上の位置付け

(1) ケ 日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

##### ②伸ばしたい(身に付けさせたい)資質・能力

- ・15年にわたる戦争の原因・経緯・結果や、戦時中の生活の様子に対する関心
- ・15年にわたる戦争の原因・経緯・結果や戦時中の人々の暮らしについて学習してきたことや意見交流をもとに、15年にわたる戦争の意味について広い視野から判断し、根拠や理由を明確にして表現する力
- ・15年にわたる戦争について必要な資料を選択し、情報を読み取ったりまとめたりする技能
- ・15年にわたる戦争の原因・経緯・結果や戦争中の人々の暮らし、戦争により多くの犠牲が払われたことについての知識

##### ③そのために必要な指導・学習活動

- ・児童にとって15年にわたる戦争がより身近な社会的事象となるよう、群馬県や東毛地区などの戦争中の写真やグラフ等の資料を読み取ったり、戦争体験者の話を聞いたりする活動を取り入れる。
- ・15年にわたる戦争の意味を広い視野から判断できるよう、調べたことや分かったことを根拠とした自分の考えを少人数や全体の場で交流したり、それをもとに考えを再構成したりする活動を設定する。
- ・児童が意欲的に調べることができるように、15年にわたる戦争を3つの観点に分け、それぞれを調べた児童が集まって教え合う活動を取り入れる。また、移動式本棚を活用して、教科書や手持ちの資料集だけでなく図書資料や複数の資料集などから必要な情報を収集したり読み取ったりできるようにする。
- ・15年にわたる戦争の原因・経過・結果や、戦時中の人々の暮らし、戦争によって多くの犠牲が払われたことについて十分に知識が定着できるよう、調べたことを互いに教え合い、情報を資料を中心とした年表にまとめる活動を取り入れる。

##### ④今後の学習への活用

次単元「新しい日本へのあゆみ」の学習において、戦後、日本がどのような国づくりを目指していったのかを考える際に、本単元の学習内容(戦争を経験し、大きな被害を与えたり受けたりしたこと)を生かしていく。

#### (2) 本単元にかかわる児童の実態

##### ①既習の学習内容

単元「天下統一と江戸幕府」において、単元を貫く学習課題を「3人の武将の中で、天下を統一し平和な世の中をつくることに一番貢献した人物は誰だろう。」と設定し以下のように学習を行った。まず、課題に対する自分の考えをもつために3人の武将について調べ、一人一人が自分の考えをもった。次に、同じ考えの児童同士でその人物を選んだ理由を伝え合い、自分一人では見つからなかった根拠などを共有した。そして、考えの異なる児童同士で構成する小グループと全体の場とで交流を行い、それらをもとにして考えを再構成した。一人一人が根拠を明らかにして交流し、さまざまな考えに触れた後に再構成を行ったことで、児童はより広い視野から考えを広げたり深めたりすることができた。

##### ②児童の実態(略)

### 3 研究とのかかわり

研究テーマ「確かな学力」を身に付けた児童の育成

～指導体制の工夫と「考え、表現させる授業」の改善・充実を通して～

既習事項の活用の工夫については、今までの調べ学習で培った資料の読み取り等の技能を生かして課題についての調べ学習を行う。追究したことをもとに自分の考えをもつために、異なる観点を調べてきた児

童同士で資料を中心とした年表を作成し、15年にわたる戦争を協働して大観する。また、年表に使用した資料から3点程度資料を選択し、それらを根拠にして自分の考えをもたせるようにする。そうすることによって、根拠をもとに自分の考えをもたせていく。

考えを広げたり深めたりする工夫については、自分の考えをもった児童たちが、他の児童の交流シートを見て「詳しく聞きたい。」と思う人のところへ行って、それぞれの考えを話したり聞いたりする活動を行う。この活動を設定することで児童は主体的な交流をすることができ、また交流の後に考えを再構成する場面を設けることで、共感できた他の児童の考えを自分の考えに取り入れることができるようにする。以上の活動から、児童が15年にわたる戦争の意味についてより広い視野から考え、表現できるようにする。

#### 4 単元の目標

15年にわたる戦争について関心をもって調べ、調べた事をもとにもった自分の考えを交流することで広い視野から15年にわたる戦争の意味を捉えることができるようにする。

#### 5 評価規準及び指導の計画概要

評価規準	関心・意欲・態度	15年にわたる戦争の経過や戦争中の生活の様子などについて関心を持ち、意欲的に課題を追究したり自分の考えを述べたりしている。			
	思考・判断・表現	15年にわたる戦争について調べてきたことをもとに戦争に対する自分の考えを持ち、根拠を明らかにして自分の考えを説明している。			
	技能	15年にわたる戦争の経緯や戦時中の生活の様子について、資料から正確に読み取り、整理してまとめている。			
	知識・理解	15年にわたる戦争の背景や経緯、日本や近隣諸国の人々の暮らしに大きな変化を与えたことについて理解している。			
時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動	主な支援・留意点
		知識・技能等	思考力・表現力等		
第1時	戦争体験者の話や資料から15年にわたる戦争について関心を持ち、学習課題を設定する。	・15年にわたる戦争についての関心。		<ul style="list-style-type: none"> <li>写真資料を見たり身近な地域の戦争体験談を聞いたりして、15年にわたる戦争について関心をもつ。</li> <li>疑問や知りたいことを全体で話し合い、単元を貫く学習課題や調べる際の観点を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真資料は、日中戦争や太平洋戦争、人々のくらしの様子が分かる資料を提示する。</li> <li>戦争体験者の話は本や「NHK アーカイブス」などから引用し、本市や近辺の地域の内容を紹介する。</li> <li>児童にとって刺激の強すぎる表現や描写がないよう配慮する。</li> <li>年表の年数に着目させ、戦争が15年にもわたったことに気づけるようにする。</li> </ul>
<p>単元を貫く学習課題 15年にわたる戦争がどんな戦争だったか調べ、この戦争から学んだことを伝え合おう。</p>					
第2時	課題解決のための見通しをもつ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のための見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を解決するために、何をどのように調べればよいか話し合い、追究の見通しをもつ。</li> <li>それぞれの観点についての疑問や予想などをもとに、小課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの際は、調べ方とまとめ方、交流の仕方について話し合うようにする。</li> <li>年表中の「満州事変」「日中戦争」「太平洋戦争」などの語句に着目させたり、戦争中の生活の様子を考えさせたりして観点を設定する。</li> <li>使用する資料は、教科書、資料集、移動本棚や家から持参した図書資料、教師が配布した資料とする。</li> </ul>

<p>&lt;課題解決の見通し&gt;</p> <p><b>①調べることについて</b></p> <p>i 何を調べるか（観点）</p> <p>ii 調べる内容（小課題）</p> <p>iii 調べ方（観点ごとに分担して調べ、教え合う）</p> <p>iv まとめかた（年表）</p> <p><b>②学んだことを伝え合うことについて</b></p> <p>i 友達と自由に考えを交流する</p> <p>ii 交流した後に自分の考えをもう一度もつ</p>			<p>&lt;調べる観点&gt;（丸数字は、「小課題」）</p> <p><b>A班「満州事変・日中戦争」</b>…①満州事変はなぜ起きて、それによってどうなったか。</p> <p>②なぜ中国と長い間戦争をすることになったのか。</p> <p>③日中戦争はなぜ始まったのか。</p> <p>④日中戦争はいつ終わったのか。</p> <p><b>B班「太平洋戦争」</b>…①太平洋戦争はどのように始まったのか。</p> <p>②アジアや太平洋の国々とのような戦いをしたのか。</p> <p>③沖縄ではどのような戦いがあったのか。</p> <p>④空襲や原爆ではどのような被害があったのか。</p> <p>⑤太平洋戦争はどのように終わったのか。</p> <p><b>C班「戦争中の暮らし」</b>…①子どもや学生はどんな生活をしていたのか。</p> <p>②女性はどんな生活をしていたのか。</p> <p>③食べものや生活用品はどうやって手に入れていたのか。</p> <p>④戦争の情報は国民にどう伝わっていたか。</p>		
第3時 ～ 第5時	相手に分かりやすく教えられるように、自分が担当する観点について様々な資料から調べる。	・教科書や資料集、図書資料などから必要な情報を収集・選択し、まとめる力。	・自分が調べたい観点を 選択し、追究を行う。	・後日教え合いがしやすいように、観点ごとに10名程度になるよう人数を調整する。 ・児童同士で相談したり資料を共有したりできるように、同じ班の児童がまとまって座るよう場の設定をする。 ・教科書や資料集などの資料に該当する「小課題」の番号を記入するよう促し、資料に着目しながら調べていけるようにする。 ・「アメリカとの戦力差」や「戦争中の情報統制」など、読み取らせたい資料は教師が配布したり声かけをしたりする。 ・調べていく中で特に重要だと思う資料を数枚選択させ、それらの中心にしてまとめたり教えたりするよう伝える。 ・小課題に沿って、根拠にもとづいて調べられるよう机間指導していく。	
第6時	同じ班の児童同士で交流し、次時の準備をする。		・調べたことを相手に分かりやすく伝えられるようまとめる力。	・次時で誰もが同じ情報を伝えられるよう、調べたことを交流し、情報を補完し合ったり教える練習をしたりする。 ・次時で教え合う際の2人組を組み、打ち合わせを行う。	・各班で半数程度に分かれて交流をし、その後10人全員で確認し合えるよう場を設定する。 ・根拠となる資料を提示して教えられるよう、発表の準備するよう促す。
第7時	調べたことを教え合っ て年表に整理し、15年にわたる戦争を大観する。		・調べたことを相手に分かりやすく教える力。 ・調べたことの中から大切な資料を選択する力。 ・調べたことを教え合い、友達と協力してそれぞれの関連を考え、総合させていく力。	・A～C班から2名程度ずつ集まり、計6人で調べてきたことを教え合う。 ・15年にわたる戦争の原因や過程、結果について情報を関連付けたり総合したりできるように、資料を模造紙に貼ったり解説を加えたりしながらグループで協力して年表を作成する。 ・資料の補足説明や関連などを端的に記入していく。 ・時間軸、空間軸を意識して整理していく。	・根拠となる資料を提示して説明を加えながら、相手に分かりやすく教えるよう伝える。 ・15年にわたる戦争を大観できるように、グループごとに模造紙を配布して「資料を中心とした年表」を作成する活動を設定する。 ・年表に表す「資料」とは、自分が調べたことを相手に教える上で重要な写真やグラフのことで、教科書や資料集などから児童が選択したものを教師がコピーをして渡すようにする。 ・年表には写真やグラフなどの資料を中心にして作成するよう促し、補足となる説明を短い言葉で記入することで、資料を中心にした年表となるようにする。 ・グループで年表を作成することで、児童同士が意見を出し合いながらそれぞれの事象の関連に気付き、大観できるようにする。 ・第二次世界大戦と太平洋戦争を混同してしまったり、時間軸や空間軸の整

第8時	大観したことで感じたことや思ったことを資料を使って説明する準備をする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時にまとめた年表中の資料などから、自分の考えの根拠となる資料を選択する力。</li> <li>・資料を精選して自分の考えを焦点化する力。</li> <li>・資料をもとに自分の考えをもつ力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年表に整理した資料をもとに、課題に対する自分の考えをもつ。</li> <li>・15年にわたる戦争を学習して学んだことを、根拠となる写真やグラフなど資料3点程度を使ってまとめる。</li> </ul>	<p>理がうまくいかなかったりするなど年表の作成がすずまないグループには、資料集にある2つの年表を参考にして作成するよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことを学んだか、特にその根拠となる資料を3点程度に絞らせることで、複数の資料を吟味したり自分の考えを焦点化したりできるようにする。</li> <li>・自分の考えをまとめることができない児童には、使用した資料から印象に残ったものを3点程度選択させ、それらの資料からこの戦争に対して思ったことや感じたことを書いていくよう促す。</li> <li>・次時で交流する際、根拠を明らかにして分かりやすく自分の考えを伝えられるように、相手意識をもたせたり、考えの根拠となる資料を整理してノートにまとめたりさせておくようにする。</li> </ul>
第9時(本時)	課題に対する考えを交流し、再構成する。単元の振り返りをし、学習のまとめをする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと他者の考えを総合して、より広い視野から15年にわたる戦争の意味を考え、まとめる力。</li> <li>・質問に対して手元にある資料をから必要なものを選択して説明する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交流シート」をもとに考えを交流したい児童と交流し、自分の考えを広げる。</li> <li>・交流の後、改めて課題に対する自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを伝える際、根拠をもとに詳しく説明したり質問に答えられたりできるように、ノートや必要な資料を持って交流する。</li> <li>・さまざまな考えに触れられるよう、できるだけ自分の考えとは異なりそうな人を見つけて交流するよう促す。</li> <li>・メモ用のワークシートを配布し、相手の考えを聞いたメモやまとめを書けるようにする。</li> </ul>

## 6 指導方針

○習得した知識・技能を活用して課題解決できるようにするために

<既習事項の活用の工夫>

- ・調べ学習の際に前単元までの学習方法を想起する場を設け、今までの学習で培ってきた技能を生かして資料を収集・選択し、図表などから必要な情報を読み取ることができるようにする。
- ・自分の考えをもつ際に根拠となる資料を明示させることで、調べてきたことをもとに自分の考えがもてるようにする。
- ・グループごとに「資料を中心とした年表」を作成する活動を取り入れることで、15年にわたる戦争の原因や過程、結果について情報を関連付けたり総合したりできるようにする。
- ・考えの根拠となる資料を3点程度に精選する場面を設定することで、課題に対する自分の考えを焦点化できるようにする。

<考えを広げたり深めたりする工夫>

単元のまとめの場面で、15年にわたる戦争の意味についてより広い視野から考えを再考する活動を、以下のように行う。

- ・自分の考えを視覚的に分かりやすく示した「交流シート」を持って自由に交流することで、主体的な交流ができるようにする。
- ・自分の考えとは異なりそうな人を見つけて交流するよう促すことで、多様な考えに触れられるようにする。
- ・考えを交流する際は、原稿の読み合いにならないように発表原稿は用意させず、交流シートに示したキーワードと3点程度の資料のみを使って考えを伝えさせるようにする。
- ・考えを再構成する際に友達の考えを生かせるように、意見交流の際はメモをとるよう伝え、それを参考にして自分の考えを再構成して記述できるようにする。

○課題に対して主体的に調べていくために

- ・戦争体験者の話を聞いたことがある児童が少なかったため、本市の戦争体験を記した図書資料から資料を選択したり、戦争体験者の話を聞く活動を取り入れたりする。
- ・15年にわたる戦争を「日中戦争」、「太平洋戦争」、「戦争中の暮らし」の3つの観点に分け、それぞれを分担して調べ、教え合う活動を取り入れる。
- ・関連する図書資料などを移動本棚に配置しておき、教科書や資料集以外からも調べられるようにする。

○情報を正確に読み取らせ知識を定着させるために

- ・観点ごとに「小課題」を設定し、必要な情報を調べていけるようにする。
- ・適切に資料や語句などを調べることができているか、机間指導する。

【本時の視点】

- 考えを交流する場面で、調べた事や考えたことを書いたノートや根拠となる資料をもとに交流する活動を取り入れたことは、追究してきたことを使って根拠を明らかにしながら自分の考えを説明することに有効であったか。
- 考えを交流する場面で、選択した資料と端的な自分の考えを表した「交流シート」を使って考えを伝え合う活動を取り入れたことは、15年にわたる戦争の意味についてよりよい考えを見だし、より広い視野から自分の考えをもつことに有効であったか。

7 CRTとの関連（略）

8 本時の学習（9／9）

- ねらい 15年にわたる戦争から学んだことを友達と主体的に交流する活動を通して、より広い視野から15年にわたる戦争の意味について考えをもつことができる。
- 人権教育の視点
  - 【知性】戦争は多くの犠牲をうむもので、最大の人権侵害であることに気付けるようにする。
  - 【判断力】根拠を明確にして自分の考えを記述したり発表したりできるようにする。
- 準備 交流シート、ワークシート、教科書、ノート、資料集、図書資料、探検バッグ
- 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 〔◎努力を要する児童への支援 ○力を高めたい児童への支援 ◇評価〕
<p>&lt;学習課題の把握&gt; 1 本時の課題を把握する。 ○前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[予想される児童の考え] ・私はこの戦争から、戦争はたくさんの人が亡くなってしまうのでもうやってはいけないものだということを学びました。 (戦争で犠牲になったアジアの人々のグラフ、沖縄の被害のグラフ、空襲による被害の図) ・私はこの戦争から、戦争のない今の平和な世の中のすばらしさを学びました。 (配給の写真、集団疎開の写真、原爆の写真)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[学習課題]「15年にわたる戦争から私たちはどのようなことを学んだか、友達と考えを伝え合って、もう一度自分の考えをもとう。」</p> </div>	3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに、単元を貫く課題「15年にわたる戦争がどんな戦争だったか調べ、この戦争から学んだことを伝え合おう。」を解決するために調べたりまとめたりしてきたことを確認する。</li> <li>・自分の考えを広げたり深めたりするためにどんな活動をしたらよいか問いかけて、今までの学習において友達と考えを交流したことでいろいろな考えを知ることができたことを想起させ、本時の学習課題を設定する。</li> </ul>
<p>&lt;課題の追究&gt; 2 考えを交流する。 ○友達の交流シートを見て、考えを聞いてみたい人のところへ行き、考えを聞く。 ○聞いたことをメモする。</p>	20分	<p><b>考えを広げたり深めたりする工夫</b></p> <p>○それぞれの考えが視覚的に分かりやすく、児童が主体的に意見交流できるように、端的に記した自分の考えとその根拠となる資料を添付した「交流シート」を持って交流する活動を行う。</p>

○自分の考えを相手に説明する。

#### 既習事項の活用の工夫

○根拠をもとに詳しく説明したり質問に答えられたりできるように、ノートや必要な資料を持って交流する活動を行う。

- ・原稿の読み合いにならないように発表原稿は用意せず、交流シートに示したキーワードと資料を使って交流させるようにする。
  - ・交流する際の人数は、主体的で活発な意見交流ができるよう一人対一人だけでなく、一人対複数や複数対複数でもよいことを伝える。
  - ・他者の考えが深く理解できるよう、聞き終わった後に疑問に思ったことやさらに詳しく聞きたいことなどを質問させるようにする。
  - ・教師は事前に児童一人一人の考えを把握しておき、児童がさまざまな考えの児童と交流できるよう声かけをしていく。
- ◎積極的に交流ができない児童には、普段の人間関係から交流しやすい児童を紹介したり、複数で交流するよう促したりする。
- ◎自分と似た考えの友達や仲の良い友達だけと交流をしている児童には、さまざまな考えを知るために自分の考えとは異なりそうな友達を見つけて交流するよう促す。
- すすんで交流を行っている児童には、誰のどのような考えに共感ができたかメモにアンダーラインを引かせるなどして、情報を整理して次の活動につなげていくよう促す。

3 他者の考えを聞いて、自分の考えを再構成する。

15分

#### 考えを広げたり深めたりする工夫

○意見交流によって広げ深められた考えを再構成する活動を取り入れる。

- ・他者の考えを参考にして自分の考えを広げたり深めたりして再構成できるよう、ワークシートに書いたメモを参考にしながら記述するよう伝える。
- ◎相手が提示した資料や聞き取ったメモの中から参考になったものを、自分の記述に付け足して記述するよう促す。
- 交流した中から、自分とは異なる考えを参考にして、課題に対して改めてどのような考えになったか記述するよう促す。

◇意見交流をもとに、視野を広げて再構成した新たな自分の考えを記述している。  
(ワークシート)【思考・判断・表現】

<本時のまとめ>

4 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。

7分

- ・学級全体に広い視野から15年にわたる戦争についての考えが共有できるよう、意図的な指名をして発表する場を取り入れる。
- ・この後、日本はどのような国づくりを目指していった

(表れてほしい児童の意識)

15年にわたる戦争は、日本やアジアなどで、多くの人たちが苦しんだり亡くなったりした戦争だった。このような戦争をもうてはいけないということを、私たちは学んだ。

と思うか尋ね、日本が民主的で平和的な国家を目指していくことを予想できるようにする。

## 9 板書計画

11/10 (木) アジア・太平洋に広がる戦争

単元を貫く学習課題「単元を貫く学習課題「15年にわたる戦争がどんな戦争だったか調べ、この戦争から学んだことを伝え合おう。」

15年にわたる戦争から私たちはどのようなことを学んだか、友達と考えを伝え合って、もう一度自分の考えをもとう。

○友達と考えを交流する

20分

↓

○もう一度自分の考えを書く

10分

↓

○全体で発表

自分の考え

「 \_\_\_\_\_ 」

その根拠となる資料

①



②



③



まとめ

15年にわたる戦争は、日本やアジアなどで多くの人たちが苦しんだり亡くなったりした戦争だった。このような戦争をもうてはいけないということを、私たちは学んだ。